

草の根・人間の安全保障無償資金協力

「ムチンジ県カチュカ小学校校舎及び教員用住宅整備計画」 引渡式

2015年6月26日



左から西岡周一郎大使、ンテングウェ教育科学技術省初等教育副局長

2015年6月25日、西岡周一郎大使は、ムチンジ県カチュカ小学校への、新しく建設された2棟の校舎棟(計4教室)及び2棟の教員用住宅の引渡しを行いました。式典は、カチュカ小学校の校庭にて行われ、ンテングウェ教育科学技術省初等教育副局長が臨席しました。

カチュカ小学校は、質の高い教育を提供する上で多くの課題を抱えています。例えば、政府が推薦する1教室あたりの生徒の数は60人です。しかしカチュカ小学校では、第1から第8学年まで合計1169名の児童が在籍しているにもかかわらず、利用できる教室は8教室しかありません。そのため、第2から第4学年の児童は屋外の日陰や木の下で授業を受けています。一方学校には、教師16名に対しわずか4棟の教員用住宅しかありません。そのため教員用住宅に入れなかった教師は、学校から離れた自宅から毎日学校に通っています。

このような課題に立ち向かうため、日本政府は草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じて、カトリック開発委員会に対し 102,355 米ドルの贈与を行いました。カトリック開発委員会は贈与資金を利用して、校舎棟 2 棟(1 棟 2 教室)及び教員用住宅 2 棟を建設しました。

引渡式で西岡大使は、本プロジェクトの実施で児童の学習環境並びに教師の指導環境の向上が期待できると述べました。また学校環境の改善が、児童のパフォーマンスの向上、より多くの子どもたちが学校に通うこと、教師の授業指導へのモチベーション向上につながるとの考えも示しました。